

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
山梨県中西部地域	南アルプス市 甲斐市 中央市 昭和町 富士川町 市川三郷町	平成24年度～平成28年度	平成24年度～平成27年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 22 年度)	目 標 (平成 29 年度) A	実 績 (平成 29 年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量				
	1 事業所当たりの排出量				
	生活系 総排出量	45,569 t	44,361 t	46,553 t	-81.5 %
	1 事業所当たりの排出量	214 kg/人	200 kg/人	249 kg/人	-252.3 %
合 計 事業系生活系総排出量合計					
再生利用量	直接資源化量				
	総資源化量	9,506 t	9,684 t	7,998 t	-2,600 %
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)				
最終処分量	埋立最終処分量				

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	% %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	% %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	% %
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

ごみ処理]

排出量

【生活系総排出量】

生活系排出量については、可燃ごみの中に資源ごみの混入が多いため、生活系一般ごみと資源ごみの分別意識の低下が要因と考えられる

【1人当たりの排出量】

可燃ごみに資源ごみが多く混入し、分別の徹底が不十分なことが要因と考えられる

再生利用量

【総資源化量】

食品スーパー、ホームセンター等店頭回収も増え、行政側で把握していない資源物量が一定程度存在することが影響していると考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成 34 年度まで

(ごみ処理)

【生活系総排出量】

生活系ごみについては、水切りの徹底並びに可燃ごみ及び資源化できる物の適正な分別による減量化を、組合ホームページ・各市町の広報誌により、周知啓発の強化などの取り組みを行う。

【1人当たりの排出量】

1人当たりの排出量については、食品ロス削減による生ごみの減量、資源ごみの分別の徹底の取り組みを行う。

再生利用量

【総資源化量】

総資源化量を増加させるため、資源化できる物の適正な分別について各市町住民へ更なる周知徹底の取り組みを行う。

(都道府県知事の所見)

計画期間内に達成できなかった目標について、上述の方策により改善が図られることを期待したい。特に生活系ごみについては、改善の余地が大きいものと思慮されるため、目標達成に向け注力すること。また、再生利用量については、スーパーマーケットでの店頭回収といった民間業者による資源回収の普及等により、集団回収量が減少したことが影響している。これは、行政側が把握している回収以外の資源回収ルートの確立という社会情勢の変化によるものであり、取り組みが難しい状況にあることは承知しているが、引き続き資源回収の向上に努められたい。県としても、目標達成のために必要に応じて状況提供や助言等により支援していくこととしたい。